

きら 煌めく 女性リーダー塾

Report #2

第9期
令和3年度

★「マスターコース」新登場！★成果発表会 ★公開講演会 ★ネットワーク勉強会 ★修了式

煌めく女性リーダー塾は、県内企業等における女性の活躍を「推進し、リーダーをめざす女性社員の相互交流と自己研鑽を図り、業種・職種の枠を超えたネットワークを構築するために、平成25年からスタートし、今年で9年目を迎えました。

今回、新たに、経営幹部としての意識や知識を備えた人材を育成するため、「マスターコース」を開設いたしました。

10月18日の開講式では、新田知事より「県の新たな成長戦略の中間とりまとめでは、「真の幸せ（ウェルビーイング）戦略」を柱の1つに掲げ、とりわけ、女性のウェルビーイングの向上に取り組みことを盛り込み、現在議論を進めている。女性の皆様の生の声を取り入れた政策づくりを進め、一人ひとりが生き生きと自分らしく暮らし、まさに「煌めく」ことができる、多様性のある富山の未来を創っていく」との挨拶をいただきました。

研修内容は、経営に関する知識やリーダーシップの向上等を目的としたものとなっています。また、メンター役として、女性の活躍を後押しする男性リーダーも出席されています。

講師である清水久三子氏は、大前研一ビジネスブレイクスウィールなどでも講義されており、IBM在籍時は5000人のコンサルタント・SEを対象とした人材ビジョンや育成プログラムを策定された実績がある方です。マスターコースの1期生となる塾生は、マスターホルダーマネジメントは難しかったが日々の仕事に活かすことができると感じた「チームビルディングの流れとして、混乱期にいかにお互いの意見を交わすことができるかに、しっかりと焦点を置いていきたい」と、意欲が高まったようです。

マスターコースのスケジュール

- 【第1回】開講式、巻き込み力
- 【第2回】課題設定力
- 【第3回】生産性向上
- 【第4回】経営戦略とリーダーシップ
- 【第5回】プレゼン力
- 【第6回】成果共有



マスターコース1期生

荒木 和（株式会社アイペック）
成田 笑子（アステラス製薬株式会社）
篠原 おりえ（立山科学株式会社）
馬場 恭子（立山マシン株式会社）
清水 美由希（テレ通株式会社）
松本 由美子（東京海上日動火災保険株式会社 富山支店）
河邊 智恵（東京海上日動火災保険株式会社 富山支店）
牛島 絵夢（富山信用金庫）
高桑 あやき（株式会社富山第一銀行）
毎田 智春（国立大学法人富山大学）
阿部 成予（株式会社北陸銀行）



マスター コース

煌めく女性リーダー塾
「マスターコース」新登場！

共通講座

●日時／令和3年11月26日(金) ●場所／富山県民共生センター サンフォルテ

背伸びしない 遠慮しない リーダーシップ ～ わたしが煌めき、みんなも輝くリーダーになる ～

有冬 典子氏(株式会社Corelead 代表取締役)

株式会社Coreleadの代表取締役である有冬典子氏を迎え、共通講座が実施されました。

リーダーシップとは影響力です。2人以上の集団において、自身の影響力に自覚的になること、理念や信念を指し示すこと、自己の在り方によって周囲を導くことで発揮されます。経済成熟期のいま、成果をあげるのは発言・提案するチームです。そして、そのようなチームを構築するために必要となるのは、裏表なくふるまい、方針や理念も語れる、自分らしいリーダーシップです。この自分らしいリーダーシップを発揮するには、自分軸/他者軸の視座を養うことと、過剰な自己犠牲を避け上手に自愛を続けることが欠かせません。



また、リーダーシップの行使により直面する葛藤について、ひとりで抱えこまず相談相手に頼ること、迷ったら腹を括って体当たりすることが好ましいとの言及もありました。締めくくりには、経験によって得られる情報量は知識によって得られる情報量の約14,000倍というデータを引いて、「背伸びも遠慮もせず経験しながらやっていけば、自分が煌めき周囲が輝きます。みなさんがそんな自分らしいリーダーシップを育まれることを期待しています」と、エールが送られ、塾生たちは数年後のありたい自分に想いを馳せつつ最後の研修を終えました。

共通講座

●日時／令和3年11月26日(金) ●場所／富山県民共生センター サンフォルテ

ネットワーク勉強会

公開講演会終了後はネットワーク勉強会を行い、講演を聴いて感じたことや、当塾に参加して学んだこと、そして、それらをどう活用・実践していくかについて話し合いました。リアル集合研修が久々とあって雰囲気は終始にぎやかで、塾生たちは再会を喜びながら、ときに熱っぽく、ときにざっくばらんに、意見を述べ合いました。

続いて、1年後のありたい姿のキャッチコピーを書いた「未来カード」をつくりました。これは決意表明カードでもあり、見直すことで気持ちを新たにするというもの。当塾修了後も、職場や家庭で頑張る塾生たちを大いに励ましていきます。



修了式

●日時／令和3年11月26日(金) ●場所／富山県民共生センター サンフォルテ

約4か月間にわたるカリキュラムを終え、第9期生となる塾生50名（スキルアップコース30名・アクションラーニングコース20名）は、令和3年度「煌めく女性リーダー塾」の修了式を迎えました。

はじめに横田副知事から「それぞれの企業で女性活躍推進の旗振り役になっていただき、女性一人ひとりが煌めく富山の未来に力添えいただきたい」と挨拶があり、修了証書授与後はアドバイザーの光地富子氏（北陸電力株式会社 理事 監査役室長）から「明るく楽しく挑戦を。それを続けていけば道は拓けるはず」、同じくアドバイザーの高橋博子氏（株式会社北陸銀行 ほくざんプラザファボーレ 所長）から「当塾で得た学びを活かしながら進んでほしい」と激励がありました。

最後に塾生代表挨拶として、スキルアップコース 長瀬麻子さん（株式会社アイザック）が「新たな視点を持って、一歩前進できた」、アクションラーニングコース 水落香織さん（株式会社アイペック）が「勇気を持って踏み出す貴重な経験を得られた」と述べ、晴れやかさと和やかさが満ちる雰囲気のなか修了式を終えました。



チームB スーパー・ウーマン！



巻き込み力を強化し組織に影響を与える存在になる 西永 ひろ美(日本海ガス株式会社)
積極的な傾聴、業務内容・課題の開示、情報の取得・共有により他部署との共働を、コンディションの調整や思考の言語化によりセルフマネジメントをおこない、自部署、他部署、会社に影響を与えられる存在になる。

自律したこれからのリーダーへ ～まわりを引っ張るのは私！～ 佐野 朝恵(北陸電力株式会社)
未経験の業務にも率先して取り組むこと、当事者意識を持ち知識と経験を培うこと、リフレーミングを活かしセルフマネジメントをすることで、自分を引っ張り周囲も引っ張る自律型次世代のnext!リーダーシップを発揮する。

周りに影響を与えられるロールモデル 谷森 由佳(株式会社北陸銀行)
挑戦を楽しむことと自分の気持ちに正直でいることを大切に、資格の取得、決断力やマネジメント力の強化、支援・連携しあえる職場環境の整備などに取り組み、まわりを巻きこみ影響を与えられる女性リーダーになる。

「困ったらこの人に相談しよう」と思ってもらえる私に 連沼 明子(協和ファーマケミカル株式会社)
オープンな雰囲気がある人になるため、手を止めて相手を見て話す。また、確かな知識と実行力がある人になるため、知識の深化と共有をはかり、優先順位をつけて着実に実行して、まわりからの信頼を得る。

私のキャリアデザイン 野上 明子(三協立山株式会社)
荒れた土地を耕し歩みやすい道をつくるには仲間を増やすことが重要である。そこで、コミュニケーションによってまわりを巻きこみ、知識や経験も活かしながら会社を好転換させて、お世話になった販売会社などに恩返しをする。

チームC チームマインドチェンジ



人と人を繋ぐ架け橋になれるリーダーを目指して ～明るく前向きに～

田代 知奈(三井住友海上火災保険株式会社 富山支店)
「人に寄り添いながら明るく楽しくなるよう仕事をしたい」という想いを叶えるため、何事もポジティブに捉えるマインド、相手にきちんと伝わる話しかた、現在そして将来担うべき役割を意識し行動する。

みんなを導く、ブレない司令塔になる 水落 香織(株式会社アイベック)
3年後、「みんなを導く、ブレない司令塔」に、また、女性リーダーのロールモデルになれるよう、ポジティブ思考を持つ、果敢にチャレンジする、笑顔で心掛ける、自分を褒めるの4項目を日々実践する。

自分らしいリーダーになるために 中居 三千代(トナミ運輸株式会社)
チャレンジを恐れない、自分の考えを大切にする、自分を褒めて励ます、リフレーミングをすることにより、自分の意見を持って他人の意見に流されず、コミュニケーション能力をさらに発揮して人に寄り添えるリーダーを目指す。

自信をつけ頼られる存在に 大野 紀美恵(富山信用金庫)
信頼され目標とされる存在となるため、リフレーミングでネガティブ思考から脱却するとともに苦手なことにも挑戦し自信につなげる。また、不安に陥らないようにするため、まずは目の前のことからコツコツとこなす。

チームD モッチーズ



「きっかけ」を与えられる人になる 野澤 亜希子(三光合成株式会社)
インプットもアウトプットもできるスポンジのような人として、知識・技術・経験を培い、コミュニケーションを広げ、成功例を増やす。これによって社内における自部署の存在感を高め、メンバーのモチベーションを上げる。

幸せになる、幸せにさせる 堂故 づみづみ(株式会社日本政策金融公庫 富山支店)
自分もみんなも幸せに働けるよう、未経験の業務・役職に挑戦し技能・資格を得たりするとともに、ひとりひとりにあったやりかたで関係を深め能力を引きだす。会社に対しては多様なキャリアプランの提示や柔軟な評価制度の導入を提案する。

メンバー個々が輝けるように 吉村 葉子(株式会社リッチェル)
誰もがやりがいを感じながら働け、チームとして100%以上のチカラを発揮できるよう、ひとりひとりの良さを引きだせる存在になる。そのために、業務知識の拡充、コミュニケーションの深化、傾聴力の向上をはかる。

ひとりひとりの得意を伸ばすリーダーになる 天野 治美(立山科学グループ 立山科学株式会社)
ワンランク上の仕事に挑戦できる組織にするため、ひとりひとりの得意にあわせて問題解決をサポートするカウンセラー的存在となる。そして、これを達成するため、改善策の提案など経営層への働きかけをおこなう。

チームE 新しい自分に



笑顔と安心を与えられる女性リーダーになる！ワクワクチャレンジ2021

戸谷 容子(税理士法人 田中会計)
業務に必要な知識と経験を充分に発揮できるように、また、顧客や組織の発展のため積極的に発言・提案できるようになり、自分に自信をつけることで、周囲に頼られ笑顔と安心をもたらせる存在になる。

枠にとらわれずチャレンジ！
山崎 友美(医療法人財団五省会 介護老人保健施設みどり苑)
ともに成長するプレーイングマネージャーを目指し、余裕を持つこと、ネガティブ思考を変えること、知識をアップデイトすることを実践する。また、組織には人材育成システムの構築やスタッフ連携強化のための機会創出を提案する。

「夫れ茶の湯の道ととも」～好きなことやって何が悪い～
田財 知恵(富山信用金庫)
小堀遠州にならって茶道にも仕事にも励む。そして、そのなかでメンバーの個性を活かすため、タスク管理力の強化などで自分を律しつつ、メンバーの困りごとに寄り添い、得意を伸ばして苦手を補える環境をつくる。

アクション ラーニング コース

●日時／令和3年11月4日(木) ●オンライン研修

成果発表会

自己変革と組織貢献をテーマに、約2か月間、考察と実践を続けてきたアクションラーニングコースの成果発表会が開催されました。当日は聴講者として企業担当者やスキルアップコース塾生も招き、5チーム20名が自分ブランドをつくりあげ、所属企業に好影響をもたらすためのアクションプランについて発表しました。

発表者であるアクションラーニングコース塾生からは「私だからこそできることがあると感じた」「リーダーとしての上手なアウトプットについて考えさせられた」といった声があがったほか、「発表を聞いて誇らしかった」「支えられたし助けられた」といったメンバーへの謝意が伝えられました。

また、聴講者である企業担当者やアドバイザーからは「内容はもちろん話しかたもハキハキとしていてよかった」「アクションプランが具体的だったので実現できると思う」といった声が、同じく聴講者であるスキルアップコース塾生からは「客観的に自己分析ができているところに刺激を受けた」といった声が寄せられました。



講 評



株式会社クオリアアソシエイツ講師
篠田 寛子氏

どの発表も課題に真摯に取り組んだ成果がよく表れていました。今後、さまざまな課題や困難に直面するなかで、自分の拠りどころを持つていくこと、仲間とのつながりを感じていられること、大きな助けになってくれますので、これからもぜひ大切にしていってほしいです。



富山県 女性活躍推進課課長
荻浦 明希子氏

ワークにくわえてライフに言及した発表がありました。ワークとライフの両方で得た経験を活かして胆力を鍛え、それをもって果敢に挑戦をしていくください。塾生のみなさんとともに女性活躍を盛りあげ富山県を輝かせていけることを期待しています。



株式会社北陸銀行ほくぎんプラザフォーレ所長
高橋 博子氏

初回の研修でよく聞かれた、自信が持てない、提案力が足りない、一歩踏みだせないという悩みが少しずつ克服できていると感じました。これからも、アクション・コミュニケーション、チャレンジを念頭に、ポジティブに仕事に取り組んでほしいと思います。



北陸電力株式会社理事 監査役室長
アドバイザー
光地 富子氏

ありたい自分をイメージする、ネガティブ思考にアプローチする、巻きこみ力や発信力をつける、組織貢献をするという、リーダーに求められる4点をそれぞれ意識した発表になっていました。今回策定したアクションプランを今後ぜひ実践・継続していきましょう。

チームA 目指せ！キラキラママリーダー



成長し続けるロールモデル 長屋 貴子(国立大学法人富山大学)
信頼される、決断力をつける、指導力をつける、組織に貢献するという4つのアクションを継続し、5年後、上司や同僚・部下と良好な関係を築いたり、業務や組織に責任を果たしたりできるロールモデルになる。

周りの人も自分も幸せになる 杉本 由紀子(社会福祉法人宣長康久会 特別養護老人ホームささづ苑)
まわりをポジティブ思考に導き成功体験を積ませるため、まずは自分が傾聴力・指導力・マネジメント力を養い自己肯定感を高めて、課題解決の推進や新規事業の提案といった組織貢献につなげる。

部下とともに戦うプレーイングマネージャー「代打、ワタシ」 岩井 文乃(株式会社富山第一銀行)
能力を最大限に発揮できるチーム、こうなりたいと感じてもらえるリーダーを目指し、営業戦略を立案・実行して業績を上げたり、部下が苦慮しているときは代打になったりして、チームのレベルアップや組織の生産性向上をはかる。

頼りがいのあるロールモデルになる！ 中辻 真樹子(株式会社リッチェル)
安心して任せられる設計者になれるよう、経験値を上げるとともに知見・知識を深める。また、若手メンバーのロールモデルになれるよう、コミュニケーションを増やしたり、仕事のやりかたを共有型に変える提案をしたりする。